

# それでも前へ!

## 本気なら、人は自ら動き出す!

先月、「菅山小のあいさつをもっとよくするためにはどうしたらいいか?」という議題で、代表委員会が行われることになりました。そのため、各学年、学活の時間をとり、現状を振り返り、代表委員会にもっていくアイデアを考えました。6年生は、話し合いのすえ、「1週間の目標を決めて取り組む(\*目標を決めることで、意識しそこに向けて努力できる。そして習慣づける。)」を案としてもっていきました。

代表委員会では多くのアイデアが出そろい、賛成や反対、改善策などの議論が交わされ時間内に決まりませんでした。そのため、具体策が全校におりてくるまでには少し時間がかかることになりました。

すると、翌日登校してきたY Iさんは、『玄関の前に立ち、登校してきた班にあいさつを返す』という活動を自ら行い始めました。そこに、I SさんやTRさん、TEさんも加わり、輪が広がりはじめました。そして少し時が経つと、さらにSYさんやTRさんも加わり、今ではなんとこのような感じになっております。



しかも、あの大雨だったあの日も…まさに「雨にも負けず状態」の子供たちでした。(^^)



この姿はもちろん素敵なことですが、それ以上に素敵なこと、大切なことがあったことを子供たちに伝えました。それは、なぜ、このようなことができたのか…です。そこには、一人の「こうしよう!」という前向き、プラス向き心の矢印に、ぼくも、私もと同じように心の矢印を重ねることができたことがあります。同じ方向にそろった一人一人の矢印が集まると、それは巨大で強力な矢印となり、より良い方向に向かって、ぐわっーと前進していくことができます。より良い集団を創り上げるための力をしっかりもっている子供たちです。結果ではなく『過程』にこそ、子供たちがこれからの社会、未来で、他者と関わり合いながら生きていくための大切な学びが潜んでいるように思います。

### 最終日は…



先日、TRさんが、帰りの会のお知らせでクラスみんなに投げかけていきました。「6年生はプール掃除をして頑張ったし、他の学年よりプールが始まるのが遅かったし、小学校生活最後のプールだから、最後の日はみんなでプールで遊んで思い出を作れたらいいな…って思うんだけど、どう?」と。その声に、みんなの「いいねえ。」の声が重なっていきました。

この企画に向けても学級会を開き、学級委員と副学級委員を中心に、話し合いをしていきました。どの子も楽しめるように、思い出が作れるように、苦手な子のことを考えたり、少数側の意見が納得できるアイデアを生み出したりするなど、自分中心ではなく、みんなのことを考えて建設的な話し合いをする子供たちの姿が印象的でした。当日が楽しみです!

PS. その前日までに、クロールと平泳ぎをマスター、頑張るよ~!

